

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

ヒメサユリ

Lilium rubellum

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 総管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. ヒメサユリ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Lilium rubellum*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

ヒメサユリ

Lilium rubellum

カテゴリー判定結果 準絶滅危惧 (NT)

③

分布域の一部において、過度の採取圧による圧迫が指摘されている。

評価分科会： 総管束植物分科会

基礎情報

鱗茎は小さい卵形で径 2-3 cm、苦味はない。茎は高さ 30-80 cm。葉は広披針形で長さ 5-10 cm、短い柄がある。花は茎頂に数個つき、横向きに開く。花被片は淡紅色で香りがあり、倒卵状皮針形で長さ 5-7 cm、漏斗形に集まり、先はわずかに反る。花粉は黄色。多年草。花期は 6-8 月。丘陵や山地から高山の草地に生える。宮城県・山形県・福島県・新潟県に分布。

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第4次 2019:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第4次 2018:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第4次 2017:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第4次 2015:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第4次:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第3次:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	NT
第2次:	ヒメサユリ	<i>Lilium rubellum</i>	EN
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

宮城県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 山形県[絶滅危惧 II 類 (VU)] 福島県[準絶滅危惧(NT)] 新潟県[絶滅危惧 II 類(VU)] 富山県[情報不足]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2015. 改訂新版日本の野生植物 1. 391pp., 272pls. 平凡社，東京。
- 富山県生活環境文化部自然保護課，2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブックとやま 2012—. 富山県生活環境文化部自然保護課, 451pp.
- 新潟県環境生活部環境企画課，2001. レッドデータブックにいがた. 新潟県環境生活部環境企画課, 467pp.
- 福島県生活環境部環境生活課，2002. レッドデータブックふくしま: 福島県の絶滅のおそれのある野生生物 植物・昆虫類・鳥類. 福島県生活環境部環境生活課, 417pp.
- 宮城県環境生活部自然保護課，2016. 宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI. <https://www.pref.miagi.jp/soshiki/sizenhogo/red-book2016.html> (2024年9月3日閲覧).

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Lilium rubellum has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Lilium rubellum* is listed as NT under criteria ③.

Judging from changes in habitat conditions, it is judged that the pressure on the survival of the species is increasing. Specifically, in part of the distribution area, one of the following trends is prominent and will further progress in the future.

③ They are under pressure due to excessive capture/collection pressure.

Law designation status for conservation	—
---	---

執筆者: 日本植物分類学会
Author: Japanese Society for Plant Systematics

公表年月: 2025年3月